

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36403	デッサン Dessin	小山田 尚弘	専門	1	選択	1・2年 前期
科目の概要						
<p>油絵や日本画や彫刻などの美術作品やデザイン作品を制作する上でデッサンは大切な基礎となるものです。この授業では、できるだけ幅広く基礎力が身につくように多種類のデッサン技法の習得を目指します。この授業で学ぶデッサンの種類としては、鉛筆デッサン・淡彩デッサン・クロッキーなどのデッサンを学びます。授業をとうして、建学の精神や社会人基礎力を身に着け、独自の表現ができるように潜在能力開発に努めてほしい。</p>						
学修内容			到達目標			
① デッサンの基本技術の習得。			①基本的なデッサン力を身につけることができる			
② 鉛筆や水彩などの淡彩について学ぶ。			②色鉛筆や水彩などの淡彩について理解でき上手に描くことができる			
③ 感や量感について学ぶ。			③質感や量感について自由にデッサン表現し描くことができる			
④ クロッキー(鉛筆)の習得			④クロッキーの技術を身に付け、短時間で上手に対象物を描くことができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	予習や授業の中でわからないことがあれば、そのままにせず教員に質問をして解決した。				
	働きかけ力					
	実行力	失敗やトラブルがあってもあきらめず、目標達成に向けて行動した。				
考え抜く力	課題発見力	自分の学修上の問題点の解決策を考えた。				
	計画力					
	創造力	授業で修得した事を応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができた。				
チームで働く力	発信力	話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意した。				
	傾聴力	教員から聞いた話の中で分からない点があればそのままにせず、確認した。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	提出物の期限を守った。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:なし。必要に応じてプリントを配布する。 参考文献:なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:色彩と表現、基礎デザイン、染色デザイン 資格との関連:なし</p>						
学習上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 形や質感など、じっくりしっかり見て描くことがデッサンを上達させます。 形を正確に描くことが基本となります。 諦めないで描き続けると必ず上達します。 			<ul style="list-style-type: none"> 出席が必要日数に満たない場合は無資格となる。 欠席や遅刻の多い学生・授業態度の悪い学生はマイナスに評価する。 作品の提出期限を過ぎての提出は認めない。 作品の制作点数は5~6作品くらい仕上げます 授業で使用する画用紙や鉛筆、消しゴムは各自で準備すること。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート			
成果発表 (口頭・実技)			
作品	80	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓	・制作した作品については完成度(特に優れて高い:K、優れて高い:A、完成はしているが仕上がりは普通:B、完成はしているが仕上がりは悪い:C、完成できてない:D)を評価する。
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓	主体性: 予習や授業の中でわからないことがあれば、そのままにせず先生に質問をして解決できる。 実行力: 失敗やトラブルがあっても諦めず、目標達成に向けて行動できる。 課題発見力: 自分の学修上の問題点の解決策を考えることができる。 創造力: 授業で修得した事を応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができる。 発信力: 話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意して解決できる。 傾聴力: 相手から聞いた話の中で分からない点があればそのままにせず、確認し解決できる。 規律性: 提出物の期限を守ることができる。
その他	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓	・作品を制作する時に、鉛筆や練ゴムの使い方など、いろいろ工夫し良い作品になるように努力できる。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A: 制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、デッサンの技法に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。 ・テキストや空気遠近法なども表現できている。 ・練ゴムの使い方上手である。 ・クロッキーの描き方も早く的確に描ける。</p> <p>S: 上記の基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品は多くの学生から高い評価を得ている。・デッサンの知識や技術などが一定レベル向上していて大変素晴らしい作品である。</p>	<p>B: 制作課題を完成できているが、デッサンの知識や技術(練ゴムの使い方、空気遠近法など)は一定レベルに達しているが、作品の良さや魅力をあまり感じない。</p> <p>C: 努力して仕上げたとあまり感じられない。先生の指示を受けないと制作を進めることができない。作品の仕上がりに粗雑なところがみられる。デッサンの知識や技術が未熟。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 授業の内容やスケジュールなどについて説明します。参考見本などを見せながら制作の説明をします。自分の手をデッサンして仕上げる。	講義と質疑応答	授業についての取り組みを理解する。デッサンの概要を把握することができる	(復習) 授業の内容について説明した内容を復習する デザインや色彩の計画を行っておく	90	主体性 規律性 傾聴力 実行力 発信力
2週 /	基礎技術の修得① 鉛筆の持ち方、鉛筆の種類、練りゴムの使用法穂について説明する。立体の描き方法について学ぶ。画用紙で立方体を2個制作する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	鉛筆の持ち方、鉛筆の種類、練りゴムの使用方法について理解できる	(予習)立体の描き方法について復習し理解しておく (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力
3週 /	基礎技術の修得② デッサンの構図の取り方、立体表現、影の描き方、ボリューム感つけ方、対比効果、などについて学習する。学生の個性や長所などが伸ばせるように指導する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンの構図の取り方、立体表現、影の描き方、ボリューム感つけ方など意識して描ことができる	(予習)空き時間にデッサンの練習を重ねて描いておく(復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力 傾聴力
4週 /	質感表現① ビン、紙、布、などの異質な質感のモチーフを組み合わせて描く。影の表現方法や距離感などについても学ぶ。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	ビン、紙、布、などの異質な質感のモチーフを組み合わせて描き、影の表現方法や距離感などについて練習できる	(予習)影の表現方法や空気遠近法などの距離感を出す練習をしておく (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
5週 /	質感表現② 仕上げに向けての手順計画など、学生個々の進度に無理がないか確認しながら授業を進める。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	仕上げに向けての手順計画などまとめ確認し練習できる	(予習)練りゴムを使ってたくさん描き込んでおく 存在感、実在感など表現できるように練習する (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力
6週 /	計画と手順 計画どおりに描けているか、問題点となるものはないか、一人ずつ確認して指導していく。さらに、画面構成の方法や存在感などについても学ぶ。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	計画どおりに描けているか、問題点となるものはないか確認しながら仕上げ描く事ができる	(予習)質感や量感について理解できるまで描き込んでおく(復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題発見力 発信力 創造力
7週 /	色鉛筆のデッサン ペットボトル、ハンカチ、小物、ガラスコップ、シャープペンシルなどを組み合わせて仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	ペットボトル、ハンカチ、小物、ガラスコップ、シャープペンシルなどを組み合わせて仕上げる事ができる	(予習)異素材などの質感の表現は鉛筆の濃淡の鉛筆を使い分けて表現し仕上げる (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 創造力 傾聴力 課題発見力 発信力
8週 /	色鉛筆の技法 色鉛筆の色の塗り方、デッサンのまとめ方法などについて学生個々に説明する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	色鉛筆の色の塗り方、デッサンのまとめ方法などについて確認することができる	(予習)色鉛筆に使い慣れるよう練習を重ねておく (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題発見力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	色鉛筆デッサン バランス、影の描き重ね方法、空気遠近法などによる遠近感、画面の強弱のつけ方も学ぶ	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	バランス、影の描き重ね方法、空気遠近法などによる遠近感、画面の強弱のつけく描くことができる	(予習)空気遠近法など遠近感の練習をしたり、画面の強弱の表現の練習を重ねておく (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力
10週 /	デッサンとクロッキー① デッサンするモチーフ数を増して描いてもらう。扇風機などを使ってクロッキーで仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンするモチーフ数を増して描く。扇風機などを使ってクロッキーで仕上げる ことができる	(予習)全体的に描く書き込む練習する(復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題発見力
11週 /	デッサンとクロッキー② 大学の中庭にある木をクロッキーで仕上げる。仕上げ時間は5分間、3分間、1分間と少なくして早く描けるように練習する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	大学の中庭にある木をクロッキーで仕上げる。仕上げ時間は5分間、3分間、1分間と少なくして早く描けることができる	(予習)クロッキーの練習では細やかな形より大きく形を捉えて描ける練習をして描き上げる (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題発見力 創造力
12週 /	デッサンとクロッキー③ 学内の建物などをクロッキーで、短時間で仕上げる。水彩絵の具、ポスターカラーなどを薄く塗って仕上げる	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	学内の建物などをクロッキーで短時間で仕上げ、水彩絵の具や色鉛筆などを薄く塗って仕上げる ことができる	(予習)水彩絵の具や色鉛筆など使い深みを出せるように練習を重ねる (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力
13週 /	デッサンとクロッキー④ 形が正しく正確に描けているか。質感表現やボリューム感などに問題はないか、一人ずつ確認する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	質感表現やボリューム感など上手に描く練習を重ね、上手に描き上げること ができる	(予習)デッサンの練習と技法をまとめる(復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題発見力
14週 /	デッサンとクロッキー⑤ 鉛筆淡彩の仕上げ方法について解説する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンを色鉛筆で仕上げる ことができる	(予習)鉛筆淡彩で描く練習を繰り返し練習しておく (復習)	45 45	主体性 課題発見力 実行力 創造力
15週 /	まとめ 学生が授業で仕上げたデッサンを並べて批評する。上手に見せるにはどうしたらいいかなど解説する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンやクロッキーを数多く描き良い作品に仕上げる ことができる	(予習)デッサンとクロッキーの技法や知識についてまとめる (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	45 45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力